

## 本学の薬物乱用防止の取り組み

- ・本学学生らが大麻取締法違反容疑で逮捕  
それを受け、どのように対応・対策を講じたか
- ・再発防止に向け現在までの取り組み

芦屋大学 西光 哲治

平成21年1月～9月 大麻取締法違反容疑で逮捕  
学生・大学院生 計6名

- ①1月21日 学生3名 逮捕
- ②2月4日 大学院生1名 //
- ③3月初旬 大学院生1名 //
- ④9月初旬 学生1名 //

### 1,対策委員会の設置(H21,1,21) 事件が発覚した時の対応・対策

「構成メンバー」 理事長 学長 事務局長 学生部長 顧問弁護士

- (1)警察との連携 捜査の協力 情報収集
- (2)報道関係者及び学園関係者への対応について---窓口の統一化

ア、報道関係者の対応→広報担当者  
・新聞社の電話による問合せが殺到(本人確認・大学としてのコメント)→公式文書による発表

イ、学園関係者への対応→広報担当者  
・謝罪と再発防止の取り組みについての公式文書送付  
保護者・学園各教育機関・受験生・合格者及び保護者・指定校

ウ、保護者関係者→学生部

エ、その他  
学内ホームページによる謝罪と再発防止のための取り組みについて掲載

- (3)逮捕学生らの懲戒

### 2,大麻根絶委員会の設置(H21,2,16) 薬物乱用再発防止に向けての取り組み

「構成メンバー」 学長 学生部教職員

- (1)学内巡回の強化と学生指導  
逮捕学生の交友関係の指導・悩んでいる学生の相談
- (2)キャンパス内の施設の総点検と防犯強化
- (3)学生用個人ロッカーの撤去  
・一人ひとりの問題と捉える  
・教科書、不必要なものの保管
- (4)学内掲示物による注意・喚起の強化  
掲示物を委員会で作成
- (5)大麻根絶に向けて啓発活動の計画

悪行の報いは  
必ずあなたに  
返ってきます。



芦屋大学大麻根絶委員会

ご相談・どんな小さな情報でも、☎078333 大麻根絶相談室へ

大麻は  
あなたの人生を  
破壊する  
悪魔の葉っぱ！



芦屋大学大麻根絶委員会

ご相談・どんな小さな情報でも、☎078333 大麻根絶相談室へ

大麻で ふっ飛びたいですか？  
でも、あなたの人生まで  
吹き飛ばしてしまいますよ！  
大麻&ドラッグは人生の敵！



芦屋大学大麻根絶委員会

ご相談・どんな小さな情報でも、☎078333 大麻根絶相談室へ

大麻&ドラッグは  
人生の落とし穴、  
まともな人生  
送れなくなりますよ！



芦屋大学大麻根絶委員会

ご相談・どんな小さな情報でも、☎078333 大麻根絶相談室へ

### 3,大麻根絶に向けた啓発活動

ピンチをチャンスに変える  
不祥事→変わる→どうアクションを起こすか(念頭)

#### (1)学生の自治活動(キャプテン運営委員会立ち上げる)

①大麻根絶緊急リーダーズ研修会の開催(部活動の主将・副将で構成)

2部構成 (H21, 3, 17) 対象者 主将・副将・指導者

- 「大麻根絶に向けて」講習会 兵庫県業務課から
- 「大麻根絶討論会」キャプテン運営委員会構成メンバー

#### ②薬物乱用防止キャンペーン活動

・JR芦屋駅前 啓発ビラ・本学オリジナルティッシュ配り(H21, 6, 28)

・JR芦屋駅前 啓発ビラ・本学オリジナルティッシュ配り(H21, 7, 22)  
阪急芦屋川駅前

・JR芦屋駅前 啓発ビラ・本学オリジナルティッシュ配り(H22, 6, 27)

キャプテン運営委員会主催 田原 弘毅委員長より  
大学側と連携を取りながら再発防止に邁進して行きたいと力強く挨拶



兵庫県業務課から講師を招いて  
薬物の基礎知識(人体・精神に与える影響・不正栽培や不正所持など)



キャプテン運営委員会構成メンバー(主将・副将)が大結集  
テーマ「考えよう・行動しよう・学生として出来ること」  
(啓発ビラ配り・地域へのボランティア活動)提案



キャプテン運営委員会の作成によるオリジナルティッシュ



JR芦屋駅前 啓発ビラ・オリジナルティッシュ配り(H21, 6, 28)



JR芦屋駅前 阪急芦屋川駅前  
啓発ビラ・オリジナルティッシュ配り(H21, 7, 22)



JR芦屋駅前 啓発ビラ・オリジナルティッシュ配り(H22, 6, 27)



③学生の大麻に関する意識調査の実施(H21, 4月初旬) 全学対象  
調査方法:紙ベースのアンケートによる方法(12項目)

- 大麻に対する有害性・危険性・違法性等の認識の甘さ
- ↓
- インターネットによる簡易な入手方法
- ↓
- 薬物乱用汚染を止める即効薬がない
- ↓
- 薬物に対する正しい知識を身につけることが必要

※薬物の専門家からの知識の習得が必要

※一個人・一大学の問題だけではなく社会全体の問題と捉え社会にアピール

④兵庫県(21年度)「若者による薬物乱用防止啓発サ  
ポーター事業」への参画

内 容: 専門家からの講演・学生の自治による啓発活動(二日間)  
集客数のUP→学園祭を活用

- 平成21年10月24日(土)学園祭1日目 特別講演

講 師: 近畿厚生局分室長  
テ-マ: 薬物の実態を知る  
対象者: 大学生・短大生(約250名)

- 同 年10月25日(日)学園祭2日目 模擬店

「大麻根絶室」ブース設置(啓発活動)

- ・薬物に関する基礎知識のクイズ&ゲーム
- ・薬物に関するビデオ上映
- ・今までの啓発活動写真の掲示及び啓発パネルの展示
- ・来学者への啓発用ビラ・ポケットティッシュの配布

この講演では薬物の危険、常習者の実態などの具体的内容  
薬物の詳細、薬物の危険性、若者の実態など理解する。(H21, 10, 24)



大麻根絶室ブースにて一般来学者にクイズ形式で楽しんでもらいながら、薬物についての正しい知識を普及した。



麻薬・覚せい剤防止センターイメージキャラクター「ダメゼッタイくん」と握手する一般来学者。集客率アップに大貢献！



### ⑤兵庫県(22年度)

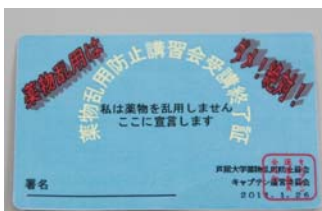
「若者による薬物乱用防止啓発サポーター事業」への参画

●平成23年1月26日(水)薬物乱用防止研修会の開催

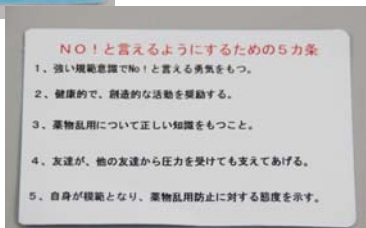
講師 DARCピアカウンセラー  
 テーマ 「薬物依存の現状と薬物依存症から学ぶ  
 —自己体験談—」  
 対象者 大学生・教職員(約200名)

※受講者に受講終了証を発行

薬物依存症者であったピアカウンセラーの実体験  
 薬物に染まる原因・薬物の怖さ・薬物から回避方法  
 実際の深い内容で学生達にインパクトを与える。



「受講終了証」  
 ・啓発意識の向上  
 ・断る手段



### (2)大麻根絶委員会としての具体的な取り組み

- ①薬物乱用防止研修会の開催(対象者:学園教職員中心・在学生約 180名)  
 ●平成21年3月25日(水)  
 ●講師:兵庫県警薬物銃器対策課 警部  
 ●テーマ:「薬物乱用について—薬物の危険性と現状・法律などについて」

※H23, 1月 改名「大麻根絶委員会」→「薬物乱用防止委員会」  
 「大麻根絶相談室」→「薬物乱用防止相談室」

- ②薬物乱用防止講習会の開催(新生入生を中心 150名)  
 ●平成21年4月21日(火)「薬物乱用の恐ろしさの実態」  
 ●芦屋保健所 食品薬務衛生課より
- ③大麻根絶相談室の開設(H21, 4, 1)  
 悩みや意見の出来る環境づくり
- ④新生入生オリエンテーション健康セミナー(薬物乱用防止啓発の講習H21, 4初旬)  
 本学校医より
- ⑤防犯カメラの増設(3台)及びモニタリング設置工事(H21, 6月)

覚せい剤・大麻・MDMA等の危険性と現状、法律等について警察の立場から具体的な講演をしていただく。兵庫県警より(H21, 3, 25 研修会)



講演会を通して、大学生としての在り方、社会に与える影響、責任の重大さなど考えてほしいと力強く訴えた。薬物乱用防止講習会(H21, 4, 21)



大麻を含む違法薬物・薬物乱用の恐ろしさの内容。テレビなどの報道関係者の取材もあり、緊張感と熱気に満ちた講習会が繰り広げられた。(H21, 4, 21)



- ・心配・気になる相談、大麻に関する質問など
- ・心理カウンセラー、弁護士、危機管理の専門家の支援
- ・委員会メンバーによる常駐(学生を守るための受け入れ体制)



薬物等についての意見を所定の用紙に記入して意見箱に入れる



学年( ) 氏名( )  
※無記名でも結構です。  
違法薬物について

学内で①見た / ②聞いた (①か②を選んで○で囲って下さい)

◆いつ頃( 月 日)

◆時間( 時 分ごろ)

◆場所( )

その他の意見(もっと具体的内容・知っている内容など)

記入したことに回答を求める。○印をつけて下さい。

求める ○ 求めない ○

⑥授業における薬物乱用防止啓発  
実施期間:平成21年11月14日(水)~12月16日  
対象者:1年生(初年次教育の一環)/2年生

授業:基礎演習

※薬物乱用防止の教材(書籍・ビデオ・DVD)使用

※担任制度—演習の担任者と学生アドバイザー(就職課・教務部・学生部)

#### 研究会及び講習会の実施

- |              |          |          |           |
|--------------|----------|----------|-----------|
| ・H21, 1, 21  | 事件発覚     |          |           |
| ・H21, 3, 17  | リーダーズ研修会 | 兵庫県業務課   | 主将・副将・指導者 |
| ・H21, 3, 25  | 薬物研修会    | 兵庫県警     | 学園教職員中心   |
| ・H21, 4, 21  | 薬物講習会    | 芦屋市保健所   | 新入生中心     |
| ・H21, 10, 24 | 特別講演     | 近畿厚生局分室長 | 大学生・短大生   |
| ・H22, 4月初旬   | 健康セミナー   | 校医       | 新入生       |
| ・H23, 1, 26  | 薬物講習会    | DARC     | 全学        |

### 薬物乱用防止活動での効果

- 教職員の薬物に対する意識が向上
  - ①学生達とのコミュニケーション
  - ②薬物防止活動への協力
  - ③教職員の薬物の知識の向上
- 一般学生からの情報提供及び啓発活動の参加
- 現在のところ問題が発覚していない状況

※H23年度の薬物乱用防止委員会の取り組み  
入学生に対する啓発活動／在学生に対する注意喚起

研修会・講習会を計画的かつ積極的に実施する

薬物乱用防止に向け

↓

キャプテン運営委員会と大麻根絶委員会の連携

↓

全学を挙げて継続した啓発活動を推進

専門家による研修会・講習会の定期開催

ご静聴ありがとうございました。